

生徒のみなさん、保護者のみなさんへ

はや今年も残りひと月。めっきり寒くなりましたが、体調を崩してはいませんか。

さて、みなさんはLGBTQ+についてどれくらい知っているでしょうか。LGBTQ+の人の割合は約10人に1人*、日本における左利きの人の割合と同じだそうです。

今回は、LGBTQ+に示される多様な性のあり方についてお伝えします。あなたにも決して遠いことではないこの問題について、理解を深めるきっかけにできればと思います。

*dentsu DEI innovations【2025-2026年版】アライアクションガイドより

今月のテーマ：LGBTQ+、SOGIについて知ろう

***LGBTQ+とは：**セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の総称のひとつ。

以下の頭文字をつなげて、そうしたあり方の人々を呼ぶ名称として使われています。

Lesbian（レズビアン：女性同性愛者）・**Gay**（ゲイ：男性同性愛者）

Bisexual（バイセクシュアル：両性愛者）・**Transgender**（トランスジェンダー：性別越境者）・**Questioning/Queer**（クエスチョニング：性自認や性的指向が定まっていな
い、もしくは意図的に定めていない人や状態、クイア：異性愛や男性か女性かの2択を
規範とする社会に違和感を覚える性のあり方）・**「+」** それ以外の多様な性のあり方

***性のあり方は4つの組合せ**

- ①性自認（本人が自認する性） ②出生時に割り当てられた性（身体的性）
- ③性的指向（どの性の相手を好きになるか） ④性表現（自分が表現したい性）

本質的に①②③は自分の意志で自由に選択・変更できませんが、それと同時に①③④は変化するものでもあります。自分らしい性のあり方を認識するまでに、さまざまな過程や長い時間を経る人もいます。こう考えると、私たち全員が持っている性のあり方は、非常に微妙なバランスの上に成り立っているといえるでしょう。男性、女性の2つだけでなく、人の数だけ存在すると言えるほど多様なものなのです。

LGBTQ+の言葉は、そういったそれぞれの立場の違いを尊重し、特定の人に困難が生じることがないようにしようという前向きな連帯を表しています。

そして、その性のあり方をどう生きるかは、個人としての自由であり権利でもあります。

来月は、その自由と権利についてもう少しお話しします。

相談室開室時間 毎週金曜日 9時半～17時半

相談の予約をしたい場合は、スクールカウンセラーか担任の先生などに希望時間を伝えてください。*昼休みは相談室を開放する予定です。

♪気軽に声をかけてください

ちょっと話をしたい、相談したいなど、どんなことでも気軽に声をかけてください。静かな部屋でしばらく時間を過ごしたいというようなときでも構いません。相談室には将棋盤などのゲーム、絵具、紙粘土などもあるので、気分転換したい、なにかを創りたいときなどにもどうぞ。

